



2024年 日本医科大学(前期)

【 講 評 】

昨年度までは、第1問が、発音・アクセント・語彙・正誤問題、第2問が長文読解問題、第3問が第2問の長文の内容と関わる自由英作文であった。今年は、第1問が長文読解問題、第2問が第1問の長文の内容と関わる自由英作文、そして、第3問が発音・アクセント・語彙・正誤問題であった。このように大問の入れ替えはあったが、長文読解問題、それに関わる自由英作文、そして、発音・アクセント・語彙・正誤問題という形式は従来の問題を踏襲するものである。第1問の長文読解問題は、問題文が2000語程度で例年並みであった。問題文自体は読みやすいが、設問が問題文の出現順ではなく、問題文の中の下線部や空所に対応する設問を確認するのも手間取る。読解のどの段階で設問を解けばいいのかの研究ができていたかどうか、この長文を時間内にこなすためのポイントとなる。それに加え、客観問題以外に、記述問題の解答の作成の仕方を練習できていたかどうか、得点をとるカギとなっている。第3問の発音・アクセント・語彙・正誤問題は、すべて基本的な問題であったので、全問正解を目指したい。

【 解 答 ・ 解 説 】

[I]

[解 答]

問1 [1] pass [2] suggesting [3] relates [4] led [5] launched

問2 (1)(う) (2)(え) (3)(い) (4)(あ)

問3 (い)

理由：本文によれば、Triggersは、「関係あるものについて思い浮かばせる誘因」であるが、Mars Barの流行も、NASAの探査機の火星(Mars)着陸の成功が話題になり、火星(Mars)からの連想で、人々が火星と同じ名前が付いたMars barも話題にするようになったことによるものだから。

問4 (お)

理由：本文によれば、practical valueは、「時間を節約したり、健康を向上させたり、金を節約させたりするといった、実生活に役立つ価値」であるが、「ワクチンの子供への害」の話が広まったのも、それを広めることで、子供への健康被害を防ぐことができる有益な価値がある情報だと人々が考えたことによるものだから。

問5 The story illustrates the principle of “emotion”. According to the text, emotional things tend to get shared, of which the story is a good example. The musician in the story posted a song in which he expressed his anger about a terrible experience with United Airlines and his frustrating experience got shared.

問6 d

問7 c

問8 a, b

問9 c

問10 a

問11 b

問12 b

[解説]

問1 1 pass :

選択肢の中で、V～on という表現を作るのは、carry ~ on 「～を続ける」と pass ~ on 「～を伝える」だけである。この英文の話題が、「どうすれば、製品や考えや行動を人々の間に広めることができるか」なので、「知識やノウハウを伝える」という意味になる pass ~ on がよい。

And we need to package our knowledge and expertise so that people can easily pass it on.
(そして、人々が容易く伝えることができるように、知識やノウハウを提示する必要がある。)

2 suggesting :

~, a paper was published in a medical journal 2 that an immunization against measles, mumps, and rubella could cause autism in children.

2 の後ろに that 節を伴っているが、選択肢の中で that 節を伴うことができる動詞は、suggest だけある。構造的には、2 以降が a paper を修飾する形容詞句を作るので、suggesting にする。

~, a paper was published in a medical journal suggesting that an immunization against measles, mumps, and rubella could cause autism in children.

(麻疹、おたふく風邪、そして、風疹の予防接種が子供に自閉症を引き起こすことがあることを示唆する論文が、ある医学誌で発表された。)

3 relates :

News about health spreads fast, particularly when it 3 to kids, ~

選択肢の中で V to ~ (to は前置詞) という形を作るのは、lead to ~ 「～につながる、結果として～を生む」と relate to ~ 「～に関わる」だけである。意味的には relate to ~ がよい。なお、三人称・単数主語の現在形なので、relates にする。

News about health spreads fast, particularly when it relates to kids, ~
(健康に関するニュースは、特に、子供に関する場合には、早く広がる。)

4 led :

～ the fact that there was disagreement 4 to even more discussion

3で述べたように、前置詞 to を伴う動詞は、選択肢では、relate と lead だけ。意味的には lead to～「結果として～を生む」がよい。なお、過去の文なので led にする。

～ the fact that there was disagreement led to even more discussion

(意見が一致しないという事実が、さらに一層の論争を生んだ)

5 launched :

Soon the annual event started spreading around the world. In 2007, events were 5 everywhere from Ireland and Denmark to South Africa and Taiwan.

In 2007 以下の文は、直前の Soon the annual event started spreading around the world. の具体化である。したがって、were 5 は、直前の文の started spreading と同じような意味になるはずである。選択肢の launch 「～を開始する」を用いて、were launched (開始された) にすると直前の文の具体化として適切な文になる。

Soon the annual event started spreading around the world. In 2007, events were launched everywhere from Ireland and Denmark to South Africa and Taiwan.

(年に一度のこのイベントは、すぐに世界中に広まり始めた。2007年には、アイルランドやデンマークから、南アフリカや台湾に至るまで、あらゆる場所で、さまざまなイベントが開始された。)

問2 選択肢の意味

(あ)「情報は、何気ない雑談を装って伝えられる。」

(い)「人々は、役に立つ情報を伝えたいと思う。」

(う)「人々は、自分が優れて見えることを伝えたいと思う。」

(え)「頭に真っ先に浮かぶものは、口にしやすい。」

- (1)(う): Social currency の説明をした文を選ぶ問である。第4段落が social currency の説明であるが、第4段落の第1文と第2文に「ある製品や考えを話題にすることで、人々はどのように見られるのか?ほとんどの人は、間抜けではなく賢く、貧乏ではなく金持ちに、そして、オタクではなくカッコよく見られたいと思う。」とある。この内容と(う)が一致する。
- (2)(え): Triggers の説明をした文を選ぶ問である。第5段落が triggers の説明であるが、第5段落の第4文に「人々は、頭に浮かぶことはどんなことであれ、それについて話題にすることが多い。だから、ある製品や考えについて頻繁に思い浮かべば、その分だけそれは話題にされる。」とある。この内容と(え)が一致する。
- (3)(い): Practical value の説明をした文を選ぶ問である。第8段落が practical value の説明であるが、第8段落の第2文に「人々は他の人の役に立ちたいと思う。だから、もし、彼らに、私たちの製品や考えが、時間を節約させたり、健康を向上させたり、金の節約になったりすることを示すことができれば、人々はその評判を広めるだろう。」とある。この内容と(い)が一致する。

(4)(あ) : **Stories** の説明をした文を選ぶ問である。第 9 段落が **stories** の説明であるが、第 9 段落の第 2 文で「人々は単に情報を伝えるのではなく、お話を語るのである。」と述べている。また、第 9 段落の第 4 文では、「だから、私たちの製品や考えを、人々が話したいと思うお話に組み込む必要がある。」と述べている。このことから、「人々は自分が話したいと思うお話を通じて、情報を伝える」ということがわかる。この内容と(あ)が一致する。

問 3 第 10 段落では、NASA の火星 (Mars) 探査機が火星着陸に成功したことで、火星 (Mars) が注目を集め、火星 (Mars) からの連想で、創始者である Franklin Mars にちなんで名付けられた Mars bar という製品も注目されることになり、Mars bar の売上増加が増加したことが説明されている。これは、第 5 段落で説明されている **triggers** の例である。**triggers** の定義は、第 5 段落の第 2 文で、「関係あるものについて人々に思い浮かばせる誘因」とある。これらのことを解答にまとめる。

問 4 「多くの人々が、ワクチン接種が子供の自閉症を引き起こす可能性があることを話題にした」ことについての説明は、第 11 段落から第 13 段落に書かれている。特に、第 13 段落第 2 文に「人々は、間違ったことを伝えようとしていたわけではなく、役に立つと思うことを耳にして、他の人の子供も安全でいて欲しいと思ったのである。」と述べられている。これは、第 8 段落で説明されている **practical value** の例である。第 8 段落第 2 文には「人々は他の人の役に立ちたいと思っている。だから、もし、私たちが、製品や考えが時間の節約になる、健康を向上する、あるいは、金の節約になると示すことができれば、人々は、その評判を広めるだろう。」と書いてあるが、このことから、**practical value** は、「時間を節約したり、健康を向上させたり、金を節約させたりするといった、実生活に役立つ価値」であることがわかる。これらのことを解答にまとめる。

問 5 **Story** ではミュージシャンがユナイテッド航空の荷物の雑の扱いでギターが壊され、その後の対応も悪く、腹だたいしい思いをした経験について歌った唄が、**YouTube** でバズったことが書かれている。これは、第 6 段落で説明されている **emotion** の良い例である。**emotion** については、第 6 段落の第 5 文で、「感情的なことは、他の人に伝えられることが多い。」と述べられている。これらの内容を英語でまとめる。

問 6 選択肢の意味

- a. 社会的流行に対処する効果的措置
- b. ソーシャルメディアのインフルエンサーがどのようにバイラルコンテンツを生んでいるか
- c. 社会的伝染の人々への悪影響
- d. 考えや製品の社会的伝染を促進するもの

Part1 の趣旨を選ぶ問である。**Par1** は、考えや製品が人々の間で話題になり、広がっていくための 6 つの原理を説明している。したがって、**d** が趣旨として最適である。

問 7 “Blair Witch Project”については、第 14 段落の第 1 文から第 4 文で、「物事が目立っている場合、たとえば、異常であったり、並外れていたり、注目する価値があったりした場合、それを他の人に教えないままではいられない。そして、それを話すことで、話している本人も注目に値する人物に思える。

The Blair Witch Project は、この手法の最も有名な例の1つだ。」と述べている。「注目に値する話題を話す人が知的で情報通だと思える」ことについては、第4段落の social currency の説明で書かれている。したがって、c. Social currency が正解である。

問8 選択肢の意味

- a. 世界中で 420 万人を超える男性が、毎年、がんで死んでいる。
- b. 2005 年には 9000 人を超える男性が Movember のイベントに参加した。
- c. 口ひげは、1980 年代以来オーストラリアで広まっている。
- d. Movember の運動が最初に始まったのは、アイルランドとデンマークであった。

選択肢 a : 第 16 段落の第 1 文の「毎年、がんが世界中で 420 万人を超える男性の命を奪っている。」という内容と一致する。

選択肢 b : 第 20 段落の第 2 文の「その次の年、9000 人を超える参加者がいた。」という文と対応する内容である。問題なのは、「その次の年 (The next year)」が、選択肢 b にあるように 2005 年かどうかである。第 18 段落の第 1 文で、「全ての始まりは 2003 年のある日曜の午後であった。」と述べている。第 19 段落第 1 文の the next November (次の年の 11 月) は 2004 年の 11 月のことであり、そして、第 19 段落の最終文の That year (その年) も 2004 年である。したがって、第 20 段落の第 2 文の The next year (その次の年) は、2005 年ということになる。したがって、選択肢 b は正しいということになる。

選択肢 c : 第 18 段落の内容と矛盾する。第 18 段落の第 3 文と第 4 文に「その会話は、さまざまな話題におよび、結局、1970 年代から 1980 年代の流行の話題になりました。『口ひげにいったい何が起きたのか?』」とある。このことから、口ひげが 1970 年代から 1980 年代に流行したが、この会話の当時は、口ひげは流行していないことがわかる。

選択肢 d : 第 18 段落から第 20 段落までの内容と矛盾する。そこに書かれているように、この運動はオーストラリアで始まり、その他の国に広まったのである。

問9 In our research, my collaborators and I noticed some common themes, or attributes, across a range of contagious content. A recipe, if you will, for making products, ideas, and behaviors more likely to become popular. Just as recipes often call for sugar to make something sweet, we kept finding the same in the advertisements that went viral, new articles that were shared, or products that received lots of word of mouth. After analyzing hundreds of contagious messages, products, and ideas, we noticed that the same six principles were often at work: social currency, triggers, emotion, public, practical value, and stories.

(我々の研究では、私たちの研究チームは、人の間で広まりやすい様々なコンテンツには、いくつかの共通のテーマ、つまり、特性があることに気づいた。言うなれば、製品や考えや行動を広まりやすくするためのレシピである。様々なレシピで、何かを甘くするために砂糖が必要となることが多いのとまさに同様に、拡散した広告、共有された新しい記事、あるいは、多くの口コミがあった製品には、同じ が繰り返し見つかった。人々の間で広まった数百ものメッセージ、製品、考えを分析してみると、同じ 6 つの原理が作用していることが多いことに気づいた。つまり、social currency、triggers、emotion、public、practical value、そして stories である。)

製品、考え、行動を人々に広めやすくするために用いる **A** を、「レシピ」という譬えを使って、料理を甘くするためにレシピでよく使われる「砂糖」と同じような存在だと言っている。したがって、**A** には、「料理の食材」と「何かを生むために必要な物」という意味を兼ね備えた ingredients を入れるのがよい。

問 10 選択肢の意味

- a. 社会的流行は、多くの異なる職業の人にとって学ぶ価値があるものである。
- b. 社会的流行は、市場戦略と広告を用いることで、たやすく生み出すことができる。
- c. 社会的流行は、多くの人々に同時に影響を及ぼす病の流行も含む。
- d. 社会的流行は、ソーシャルメディアによって広範囲に広められるメッセージだけに関わるものである。

第 1 段落で述べられている「社会的流行」について推論できることを選ぶ問である。

選択肢 a: 第 1 段落で述べている「社会的流行」との関連で、第 2 段落の第 3 文で「マーケティング、政治、技術工学、あるいは、公衆衛生など、どの分野に携わるのであれ、自分の製品や考えを普及させる方法を理解する必要がある。」と述べている。このことが、選択肢 a の内容を示唆していると言える。

選択肢 b: 第 1 段落の第 6 文で、「マーケティングや広告に金を費やしても、ほとんどの製品は普及しない。」とある。このことと選択肢 b は矛盾する。

選択肢 c: 社会的流行とは、製品や考えや行動が人々の間に広まることであるので、病の流行とは関係がない。したがって、選択肢 c は不正解である。

選択肢 d: 社会的流行は、「ソーシャルメディアによって広範囲に広められるメッセージだけに関わるもの」といったような限定的なものではないので、選択肢 d は不正解。

問 11 選択肢の意味

- a. Mars bars は、NASA の Pathfinder mission に財政面で貢献した。
- b. Mars bars は、NASA の Pathfinder mission とほとんど関係がなかった。
- c. Mars bars は、NASA の Pathfinder mission の成功を祝うために宣伝された。
- d. Mars bars は、NASA の Pathfinder mission のための食料供給の一部であった。

第 10 段落で述べられている Mars bars について推論できることを選ぶ問である。

Mars bars は、NASA の Pathfinder mission で注目を集めた火星 (Mars) と、たまたま同じ名がついていたために話題にになった流行した製品であるので、製品名以外は、この mission とは無関係である。したがって、選択肢 b が正解である。

問 12 選択肢の意味

- a. 元の論文は、その研究者が自分の有利になるように変えたデータを含んでいた。
- b. 元の論文は、自閉症とワクチンとの関係は全くないことを示した。
- c. 元の論文は、その研究者が医師免許を失う原因となった。

d. 元の論文は、間違っただけを報じているにもかかわらず、広まった。

第 12 段落で述べられている **the original paper** について当てはまらないことを選ぶ問である。

第 12 段落では、自閉症とワクチンの関係を人々が話題にして広める元となった論文は、その著者が自分の有利になるように証拠を操作し、そして、そのために、医師免許を失ったことが述べられている。この内容に選択肢 a, c, d は一致する。したがって、b が正解である。

[Ⅱ]

[解 答]

The sudden outburst of moustaches was caused by an annual campaign in which men showed their participation by growing moustaches. The aim of the campaign is to raise the awareness of men's health and raise money for the improvement of men's health. According to the text [I], making things more observable makes them easier to imitate, which makes them become popular. The annual campaign uses this principle, that is, "public". Participants' wearing moustaches makes this campaign more observable and easier to join. Every early November many men begin to grow moustaches and show their participation in the campaign and, seeing them, other men imitate them. So every November, the sudden outburst of moustaches is found in many parts of the world.

[解 説]

第 16 段落で、「突然男子の間で口ひげが流行し始めたこと」が書かれているが、その流行の原因を、テキスト [I] で書かれている「6つの原則」の中のいずれかと関係づけて説明する問題である。つぎの内容が書かれていることがポイントである。

- ①この流行を生んだ直接の原因は、毎年 11 月に行われるイベントである。
- ②このイベントは、男性の健康問題への意識を高め、資金を集めることである。
- ③このイベント期間中は、男性たちがひげを生やす。
- ④このイベントで男性たちがひげを生やすことで、このイベントを目で確認できるようになり、人々がそれをまねて、このイベントが広まった。これは、Text I で説明されている“public”という原理の利用した良い例である。

この 4 点の内容が書かれていることが望ましい。

[Ⅲ]

[解答]

問1 c, e

問2 a, e

問3 b, d

問4 (1) a (2) e

問5 (1) c (2) a

問6 (1) d (2) c

問7 (1) b (2) d

問8 (1) a (2) d

問9 (1) c (2) a (3) b

問10 (1) b (2) d

[解説]

問1 第2音節を最も強く発音するものを全て選ぶ問題。

a. in·cor·réct

b. in·di·víd·u·al

c. il·lé·gal

d. í·mi·tate

e. i·ní·ti·a·tive

したがって、正解はcとeである。

問2 第1音節を最も強く発音するものを全て選ぶ問題。

a. át·mos·phere

b. ma·níp·u·late

c. of·fí·cial

d. po·li·tí·cian

e. pré·va·lent

したがって、正解はaとeである。

問3 virus[váíərəs]の下線部と同じ発音[ái]をもち、その部分に第1アクセントがあるものを全て選ぶ問題。

a. frí·kwənsi

b. inspáiər

c. θí·m

d. tráíəmf

e. væksí·n

したがって、正解はbとdである。

問4 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

選択肢

- a. affection 愛情
- b. apprehension 不安
- c. articulation 言葉での明確な表現
- d. aspiration 憧れ
- e. assumption (明確な根拠がない)思い込み、前提

(1) a feeling of liking for a person or place

(人物や場所を好む気持ち)

この意味に合うのはaである。

(2) something that you think is true without having any proof

(証拠なしに本当だと思っていること)

この意味に合うのはeである。

問5 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

選択肢

- a. deceive ～をだます
- b. deprive ～から奪う
- c. derive ～を導き出す、～を得る
- d. deserve ～に値する
- e. devise ～を考案する

(1) to obtain something from a specified source

(特定の源から何かを手に入れる)

この意味に合うのはcである。

(2) to make someone believe something that is not true

(真実ではないことを人に信じ込ませる)

この意味に合うのはaである。

問6 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

選択肢

- a. fragile 壊れやすい、もろい
- b. furious 怒り狂った
- c. immense 巨大な、莫大な、計り知れない
- d. inherent 本来備わっている、生得的な、固有の、内在する
- e. spontaneous 自発的な、自然発生する

(1) existing as a natural or basic part of something

(何かの自然な、あるいは、基本的な一部として存在している)

この意味に合うのは d である。

(2) extremely large in size or degree

(大きさや程度という点で極端に大きい)

この意味に合うのは c である。

問 7 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

選択肢

a. conversely 逆に

b. evenly 均等に、むらなく、等間隔に

c. persistently しつこく、持続的に、粘り強く

d. scarcely ほとんど～ない

e. swiftly 迅速に

(1) in a smooth, regular, or equal way

(なめらかに、定期的に、あるいは、均等に)

この意味にあるのは b である。

(2) only just; almost not

(かろうじて、ほとんど～ない)

この意味に合うのは d である。

問 8 (1)と(2)のそれぞれの意味を持つ単語を選ぶ問題。

選択肢

a. abolish ～を廃止する

b. blush 赤面する

c. dispense 施す

d. flatter ～にお世辞をいう、～をほめて喜ばせる

e. torment ～を苦しめる

(1) to end an activity or custom officially

(ある活動や習慣を正式に止める)

この意味に合うのは a である。

(2) to say nice things to someone to please them

(誰かを喜ばせるために、好ましいことを言う)

この意味に合うのは d である。

問9 文法的に適切な文にするために、に入れるのに最も適したものを選ぶ問題。

- (1) the wind blew in, the fire quickly moved into the area, damaging approximately 12 square miles.

the fire quickly moved into ~が主節なので、 the wind blew in]は、副詞節である。選択肢の中で副詞節を作る表現は The moment しかない。The moment S V ~ 「~するとすぐ」。

したがって、問題文は次のようになる。
The moment the wind blew in, the fire quickly moved into the area, damaging approximately 12 square miles.

(風が吹き込むと、火事はすぐにその地域におよび、おおよそ 12 平方マイルに及ぶ被害を与えた。)

- (2) The researcher had always believed that the brain was better than the machines that he and others were building, , they would improve.

この文の最後に they would improve という節構造があるので、空所には、they would improve を SV とする接続詞か関係詞か疑問詞が存在するはずである。その条件を満たすのは a だけである。選択肢 a を入れると、問題文は次のようになる。

The researcher had always believed

<input type="checkbox"/> that the brain was better than the machines
<input type="checkbox"/> that he and others were building,
and
<input type="checkbox"/> that, [by making them more like the brain],
they would improve

(脳は、自分たちが製作中であり、脳にもっと似せることによって性能を高めていくその機械よりも優れていると、その研究者は常に信じていた。)

- (3) In 1990, having been alarmed for decades by the deterioration of so many aging film prints, the Film Foundation, a nonprofit organization dedicated to preserving film history.

[having been ~of so many aging film prints]は、現在分詞句か動名詞句で、[dedicated to preserving film history]は、a nonprofit organization を修飾する過去分詞句である。したがって、空所には、少なくともこの文の動詞となる表現が入るはずである。その条件を満たすのは、b. he established か、c. so he established である。(when he established は従属節になってしまうのでダメである。) 選択肢 b を選ぶと、[having been ~of so many aging film prints]は、分詞構文と言う説明がつくが、選択肢 c には、so があるので、[having been ~of so many aging film prints]の用法の説明がつかない。

したがって、空所には b が入り次のような文になる。

In 1990,

having been alarmed for decades by the deterioration of so many aging film prints, (分詞構文)

he established Film Foundation,

(言い換え) a nonprofit organization dedicated to preserving film history.

(それまで数十年間、とても多くの古い映画のフィルムの劣化に危機感を感じてきて、1990年に、彼は、映画史の保存に尽力する非営利団体である Film Foundation を設立した。)

問 10 文法的に誤りがある箇所を指摘する問題。

- (1) 問題文は、Behind every advance in machine learning が副詞句である。この出だしが正しいとするなら、問題文は、Behind every advance in machine learning(M) is(V), in fact, people(S) という倒置文である。だとすると、主語は people (3人称複数名詞) なので、be 動詞は、is ではなく、are ということになる。

訂正後の文

Behind every advance in machine learning are, in fact, people — both the human labor that makes large language learning models safer to use, and the individuals who make critical decisions on when and how to best use this technology.

(機械学習のあらゆる進歩を陰で支えているのは、実際には、人間です。つまり、大規模な言語学習モデルを安全に使えるようにする人間の労力と、この技術がいつ使用すべきか、どのようにすれば最もうまく使用できるに関して重要な決定を下す人々の両方のおかげなのです。)

- (2) 問題文の最後に they weren't, too という表現があるが、否定文の追加の表現として、too を使うことはできない。否定文の追加の表現として文末に添えるのは either である。従って、too を either に変える必要がある。

訂正後の文

There was no evidence that the objects that often appeared to be flying with no identified means of propulsion were extraterrestrial in origin but no proof that they weren't, either.

(特定できる推進力となる手段を持たずに飛んでいるように思えることが多かったその物体は、地球外からのものであるという証拠はなかったが、そうではいという証拠もなかった。)

お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.com/>